

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 2月 22日

事業所名 阿桜園放課後等デイサービス(ほっとハウス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動内容や利用者の状況を考慮し、必要に応じて園内の空間を利用するなどの工夫していきます。	
	2	職員の配置数は適切である	○			適切に配置されています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			スロープや手すり等が設置されていますが、玄関前のスロープに屋根がついておらず不便であると感じています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			マニュアルを整備し、業務の見直し、改善に努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表の結果を参考に、日々業務の改善に努めています。	今後も保護者との情報共有に努め、安心して利用出来る環境を整えていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は行っていませんが、法人が行っている内部監査等を通して業務の改善に繋がっています。	引き続き、サービスの質の向上に努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			今年度は主に事業所内の研修に参加をしましたが、今後も事業所内外の研修にも積極的に参加をし、資質の向上に努めていきます。	今後も、各種研修への参加を通して情報の共有を図っていききたいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者の要望、日々の関わりの中で本人の要望を汲み取りながら、ニーズや課題を分析し、個別支援計画の作成に努めています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所で統一されているアセスメント票を活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員間で話し合いをし、活動内容の立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			週ごとの活動を基本とし、利用時の子どもの状況に応じて活動を提供しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			放課後は、限られた時間の中で子どもの状況を考慮し調整しながら支援を行っています。長期休暇は、生活介護利用者と一緒に集団、個別活動等を取り入れながら支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの状況に合わせて、様々なアプローチが出来るよう組み合わせで作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			当日の利用状況、活動内容、家族への連絡等の確認をし周知しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			活動の振り返り、再確認し、次回の利用時に繋がられるよう、情報の共有に努めています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			活動内容、利用時の状況等を把握し、適切に記録を取ることを徹底し、支援の検証及び改善に繋がっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			マニュアルに沿って見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○		ガイドラインの基本姿勢を踏まえ、基本活動の充実を図っていますが、地域交流は行っていません。	個々の特性を尊重しながら、様々な経験が出来るよう支援していききたいと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			相談支援専門員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			下校時や送迎等を通して情報の共有に努めています。担当教諭に支援方法などのアドバイスを受けられるよう依頼をし了承を得ており、サービスの質の向上に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			連絡体制を整え、医師からの指示書を基に、喀痰吸引等の業務を行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		相談支援専門員を通して、情報の共有に努めています。	ご家族の了承を得て、引き続き情報の共有、相互理解に努めていきたいと思ひます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			保護者の同意を得て行っており、今年度は1名の方が生活介護へ移行しています。卒業後も定期的に支援学校の教諭より近況伺いの連絡もあり、情報共有に努めています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要に応じて、専門機関と連携をし、助言や研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	交流する機会や活動は設けていません。	本人や保護者から要望を聞き取りながら、必要時応じて対応をしていきたいと思ひます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			相談支援専門員と児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳を通し、都度状況を伝え情報の共有に努めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者との情報交換は利用時に行っています。	必要に応じて、ペアレントトレーニングの研修を受けた職員からのアドバイスを受け支援をしていきたいと思ひます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			重要事項説明書等を通し、丁寧な説明を行い、変更時には都度書面等の差し替えを行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			日常的に情報交換を行うと共に、相談があった場合には、相談支援専門員とも連携をし、適切に対応出来るようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	父母の会等の支援は行っていません。	今後要望等があった場合には、聞き取りをしながら検討していきたいと思ひます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情解決のマニュアルは整備されています。これまでに苦情等はありませんが、発生した場合には迅速に対応していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			定期的にお便りを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			十分配慮して対応しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			送迎時や連絡帳を通し、保護者との情報交換を図りながら、子どもの思いを汲み取ることが出来るよう配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			毎年行っているが、今年度は感染症対応で行事に地域住民の招待は行わなかった。地域貢献活動は実施している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		保護者への説明は行っていませんが、マニュアルの整備をし、職員への周知に努めています。	保護者用のマニュアルはありませんが、随時お知らせしていきたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			園では毎月避難訓練を実施しています。利用時に訓練を実施した場合には、体調に考慮をし参加を促します。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止対策委員会の設置(毎月開催)、虐待防止チェックリスト実施、読み合わせを行い、第三者委員を含めた虐待防止委員会にて検証し、虐待防止に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			大半の利用者が車椅子を使用しており、使用の際には危険防止のため安全ベルトが不可欠です。そのため、保護者へ説明を行い、同意を得て個別支援計画書へ記載をし支援をしています。また、職員はマニュアルにて周知を図っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、対象者はいません。	必要に応じ栄養士と連携をし、対応をしていくことは可能です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			所定の様式により、防止策の策定、検証を行い、事業所全体で共有を図っています。	